1977年12月３日第三種郵便物認可（毎月18回1・2・3・5・6・7の日発行）
1999年12月19日発行ＳＳＫＰ増刊通巻1091号　　つくつく通信No.38

SSKP　つくしんぼの会報誌

つくつく通信

“つくしんぼ”はハンディをもつ子どもたちのための放課後活動のスペースです

1999年12月号
(No.38)

編集～フリースペース
つくしんぼ
町田市小川1511番地
TEL 042(796)8468

学童保育と放課後保障

どう違うの？

つくしんぼは発足当初、自分達の活動を一言で説明する時に「障害児のための学童保育」と言っていました。でも最近は変え、「障害児のための放課後保障の場」と言っています。

なぜかと言うと……どうしても勘違いされてしまう傾向にあるからです。

「学童保育」とは？

学童保育とは一般に言われている通り、片親の場合や両親共が働いている場合に、主として小学校低学年の子ども達を預かる施設のことです。就労保障しているのが基本です。

言ってみれば『親の都合』を優先しているわけです。

「放課後保障」とは？

一方、放課後保障という言葉、まだ一般への認知度は低いのですが、その字の通り「放課後を保障する」という意味です。親が就労することはもちろん構わないのですが、その就労が保障されているわけではありません。

あくまで『子どもの都合』を優先しています。

ごめんなさい……

ホームページを見て「つくしんぼのような施設があれば両親で働くことができるのに…」という内容のメールを頂いたりもします。また中には「来年度、子どもが就学しても仕事を続けたいので、つくしんぼの近くに引っ越すことを考えている…」とおっしゃる親御さんもおり、慌てて「ごめんなさい、就労保障はしていないんです」とお返事を差し上げたこともありました。

就労保障は出来ないの？

「結局つくしんぼは働いている母親の子どもは通わせて貰えないのね…」と言われたりすることもあります。そんな場合、私達は「はい、スミマセン…」としか答えることが出来ないのが現状なのです。

もちろん、障害児の親の就労を保障出来ることは理想だと思います。実際、就労保障を実践しているグループもあります。

でもそれを実現するためには、あらためての多額のお金が必要なのです。就労を保障するためには、それだけの職員配置が必要なのです。今のつくしんぼの補助金額では到底不可能です。

「ボランティアでまかなえば？」などと言われることもありますが、保障に見合う体制を整えるのは至難の技です。何より、働いてお金を稼ぐ親のために子どもの面倒をボランティアにみさせるというのは、どこか主客転倒している気がしてなりません。

もちろん、親の負担金の額をアップすれば出来ないこともないのですが……。

予算が足りないから…

現在、つくしんぼでは活動において職員数が足りない場合、かかる経費の点からも親に参加を要請することで人手不足を補っています。それゆえ、親の負担金額を一般の学童保育レベルに抑えることが出来ているのです。金銭負担の代わりに、労働負担を親に課している。それがつくしんぼの現状なのです。

これがもし、新たに就労保障を実践するとなると、体制自体を根本から変えていかなければなりません。父母会だって平日の午前中に開くことも出来なくなります。バザー等の準備も親達の仕事ですが、これにも働いている親は参加出来ません。

これら諸々の労働負担を金銭対価に置き換えると……就労保障を希望する親には月十万円弱の金銭負担をして頂かなくてはならない計算になってしまうのです。

やはり動かないと

繰り返しますが、障害児の親の就労保障は今後、ぜひ実現していかなければならない問題だと思います。

ただ、どう考えても現状でそれを望むのは不可能に近いわけで……。

行政に期待してノンビリ待っていても無駄かも知れません。（あちらさんもお金がない…）

仕事を持つ親自身が、自らなんとかしていかねばと思わない限り、社会環境の改善は難しいような気がします。

♪♪♪つくしんぼ日記♪♪♪

11月6日(土) 天気 はれ

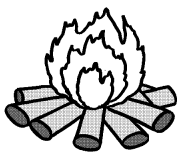
まだ落ち葉もほとんどなく、季節的にも早いかなとは思ったのですが、あらぐさ分教所さんから頂いたサツマイモもあることだし、恒例のやきいも大会を行ないました。

古材で作った種火の上に、新聞とアルミホイルで包んだサツマイモをばらまき、その上に落ち葉をザザーッ!!

煙と格闘しながら約一時間、ホッカホカのヤキイモが出来上がりました。

みんなモリモリ。食べ過ぎの気配……。

ちょっと足りないかなと思ってスーパーから買ってきたイモより、あらぐさのイモの方が圧倒的に美味しかったのは言うまでもありません。



ご不用の６畳用カーペットがありましたら、ご寄付願えませんか？

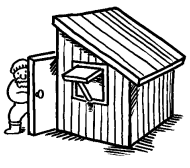
新しく建ったプレハブ、実は床がベニア剥き出しの状態なのです。だからといって、新しいカーペットを買うのも……。

というわけで、もしご不用の６畳用カーペットがありましたら、つくしんぼの方へご寄付をお願いします。汚れていても構いません。もちろん取りに伺わせて頂きますので、よろしくお願いいたします。

プレハブが建ちました

社会福祉法人木下財団様からの助成金を使わせて頂き、念願の事務所用のプレハブを建てることができました。

木下財団様、本当にありがとうございました。大切に使わせて頂きます。



ささえる会ご入会・ご更新ありがとうございました

庄司様、真野様、森様、川岸様、桶谷様、高崎様、周東様、黒坂様

ご寄付・ボランティアありがとうございました

高尾様、福井様、田上様、坂井様、津村様、田口様、西本様、鈴木様、杉田様、根岸様、みなみ風の会の皆様、野の花会様、木下財団様、ミスター・バナナ様

（11月）

つくしんぼ**ホームページ**が**インターネット上**で営業中!! アドレスは http://www.join-am.ne.jp/~tsukushi/ です

1977年12月３日第三種郵便物認可（毎月18回1・2・3・5・6・7の日発行）
1999年12月19日発行ＳＳＫＰ増刊通巻1091号　　つくつく通信No. 38

SSKP

つくつく通信

“つくしんぼ”はハンディをもつ子どもたちのための放課後活動のスペースです

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪
つくしんぼの活動時間は
月曜日～金曜日、放課後
～午後５時まででーす!!
♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

つくしんぼ交遊録

子育ては親育て

吉本 美登里

今から４年前、いつまでたっても言葉が出ない２才の娘に苛立ち、焦っていた。

医者に診てもらうしかないと観念して、何人もの医師を訪ねたが、異口同音に「詳しい検査をしてもわからない。焦らず成長を長い目でみて……」と言われるばかり。具体的にどうすれば良いのかわからぬまま、２年が過ぎ、その間療育施設や保育園にも通ったが、変化は感じられず、イライラは増す一方で心も不安定に……。

「つくしんぼ」の存在を知ったのは、そんな時だった。すがる思いで訪ねると、そこには「トトロ」に出て来そうなほのぼのとした一軒家。中には元気に遊ぶ子どもたちと、それをやさしく見守るお母さん……。とても和やかな空間が広がっていて、私は久し振りに穏やかな気持ちになれた。

それから暫くして、幸運にも「つくしんぼ」の一員になることができ、娘は広い庭で元気よく遊びまわり、私もこのやさしい空間の中で自然に癒されていった。

そんなある日、娘に嬉しい変化が……。大好きな職員のお兄さんに大きな声で「だっこ」「だっこ」と言っているではないか。自分から喋ったのは初めてだった。私はその様子に感激し、信じられない思いだった。

今まで他の子どもと比較しては落ち込んで、早く普通の子にしようと一生懸命だった。

「育児は競争ではない」「子どもによってペースが違うのだ」ゆっくりであっても信じて見守っていかなければ……。

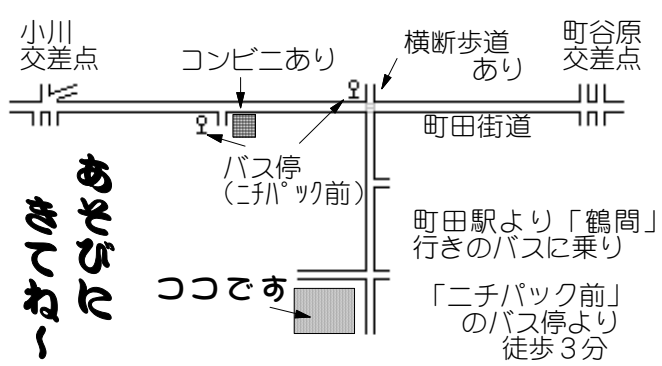
お兄さんと無心に遊ぶ娘の姿が、私にそう教えてくれた。

あれから１年半、今では私と口喧嘩するまでになった娘。マイペースでまだまだ問題は多いけど、それなりに育ってくれた。

よたよた歩いていた私たち親子がここまで来ることが出来たのは、温かい「つくしんぼの仲間」のお蔭と本当に感謝している。

子どもだけでなく親も育ててくれた「つくしんぼ」。こんな私たちだけど、これからも宜しくね。

♪つくしんぼの地図♪



田園都市線「すずかけ台」駅からだと徒歩15分です

町作連のホームページ、引っ越しました

ちょっとした事情（プロバイダの統合）があり、町田作業所連絡会のホームページ『町田の福祉のかいらんばん』を勝手ながら12月上旬に引っ越しさせて頂きました。

新しいアドレスは……

http://homepage1.nifty.com/machisaren/ です。

アドレスの登録等をなさって下さっている方、お手数ですが再登録をよろしくお願い致します。

【お詫び】

当通信の11月号の紙面上において、個人が特定でき得る可能性のある表現を掲載してしまい、当事者および多方面の方々にご迷惑をおかけてしてしまいました。ここにお詫び申し上げます。今後は細心の注意を払う所存です。本当に申し訳ありませんでした。

「つくしんぼをささえる会」ご入会　ご更新のお願い

私たちは、ハンディを持つ子ども達の放課後活動の場としてフリースペースつくしんぼを九六年五月に開所し、おかげさまで九八年四月より補助金を頂ける団体として認められるに至りました。

しかしながら、公的資金だけでは、運営が苦しいのは相変わらずです。

そこで皆様にお願いがございます。本当に勝手なお願いで申し訳ないのですが「つくしんぼをささえる会」に入会しては頂けませんでしょうか。

会費は年間、一口二千円でお願いしております。

会員になって頂いた方には、毎月、この機関誌「つくつく通信」お届けさせて頂きます。

年会費のお支払いは、関係者に直接お渡し頂くか、お近くの郵便局より下記の口座番号にお振込いただければ幸いです。

よろしくお願い申し上げます。

郵便振替口座番号　00120-7-168283
加入者口座名称　　フリースペースつくしんぼ

編集後記

私事ですが……。12月５日、入院していた祖母が老衰のため、死去しました。

享年92歳。明治　大正　昭和　平成と 四つの時代生きてきたことになります。

半世紀も前に祖父とは死に別れ、その後は一人で家を守ってきた祖母です。

子どもが７人、孫と曾孫が30人以上。少子化を叫ばれる昨今、これはとてつもない社会貢献なのではないか、などとふと思ってしまいました。

今、つくしんぼで使っている土地と建物は相続で得たものではなく、祖母と祖父が畑仕事で得たお金で購入したものだとのこと。時代が違うとはいえ、これはすごいことだと私は思っています。そして感謝しています。祖母たちのお蔭で私達は日本一の環境と言える障害児の放課後活動の場を持つことが出来ているのですから。

周囲の「もう充分じゃないかって」という声をよそに「まだ死にたくない…」とずっと言っていたばあちゃん。まだつくしんぼのそばにいるのかなあ。（^o^）

葬儀等の用事で通信の発送が大幅に遅れてしまい、すみませんでした。

m(__)m

発行所　東京都世田谷区砧6～26～21
障害者団体定期刊行物協会　定価50円

町作連のＨＰ『町田の福祉のかいらんばん』が引っ越ししました。アドレスは http://homepage1.nifty.com/machisaren/ です